

明日奈VS里香

ひとりの男をめぐる

浣腸我慢対決



小説：プラム宝玉堂

挿絵：きやゆか

手画：怜華さん [Twitter \(@M_H_6_6\)](#)

【登場人物】

◇結城明日奈

周りを立てる気遣いの人であり克己心が強い努力家。デスゲームに囚われた事がきっかけで強く成長、集団をまとめて率いる統率者の才能を開花させた。

◇篠崎里香

鍛冶に使用する素材取りで和人と一緒に夜を明かした。優しさに触れて好意を抱き、剣の完成後告白しようとするも、その直前に工房を訪れた明日奈の和人に対する態度から2人の関係を察する。現在は明日奈と恋敵同士の関係。

◇桐ヶ谷和人

生まれて間もなく事故で両親を失い、母の妹夫婦である桐ヶ谷家の養子となる。自身の生い立ちを偶然知って以降、自分と他者との距離感が狂い出し、関わりを恐れるようになっていく。だが2年間に及ぶデスゲームで経験した多くの出会いと別れを経ることで精神的に成長していくことになる。明日奈とは相思相愛であるが、リズベットや他の女の子にも気がある。

◇綾野珪子

かわいらしい容姿や稀有なビーストテイマーであることから、デスゲーム内ではアイドル的存在だった。ギルドへの勧誘や結婚の申し込みをたびたび受けた結果、男性プレイヤーに恐怖心を持っており、和人に対しても当初は警戒心を見せていた。

[帰還者学校の放課後 結城明日奈と篠崎里香]

(こ……これは、何をしているのです!?)

この日、綾野珪子は薄暗い体育倉庫でとんでもないものを見てしまった。

(明日菜さん、それに里香さん。あれは……注射器!?)

上半身のみ制服を羽織った結城明日奈と篠崎里香。

その後ろには大きな注射器を構えている桐ヶ谷和人。

ふたりは顔を赤らめながらも、一糸まとわぬ尻を注射器に向けて突き出している。

「決着を付けるにはこれしかないんだ……」

「わかってる、和人君……遠慮しないで」

「……里香もいいな」

「うう、恥ずかしい……。でもあんたにされるなら……」



「よし、まずは明日奈から、肛門の力を抜いて」

頷いた和人は、大きく息を吐いた明日菜の肛門をズブりと嘴管で縫った。

(え……！？え……！？注射を……どうして？

お……お尻にですか……！？)

和人が使っているものは2000ccの浣腸薬が充填された注射型の浣腸器。嘴管ですら親指2本の太さがある巨大なものだ。シリンダーに手をかけ、押して薬液をグイグイと注入。明日菜の腸内を便意増幅薬が満たしていく。

ドク、ドククン

チュルーー、チュウーー……。

「はぁうッ！……和人君……！」

チュチュウ、チュルル、チュウーー……。

「はぁ……苦しいッ！うむむ」

(大丈夫、明日菜の液は薄めてあるから……)

心の中で呟いた和人。罪悪感を抱きながら浣腸我慢対決に細工を施していたのだ。

デュウー……。

「あ！あ、ふああッ！ああー！」

チュチュウ、チュルル、デュウー……。

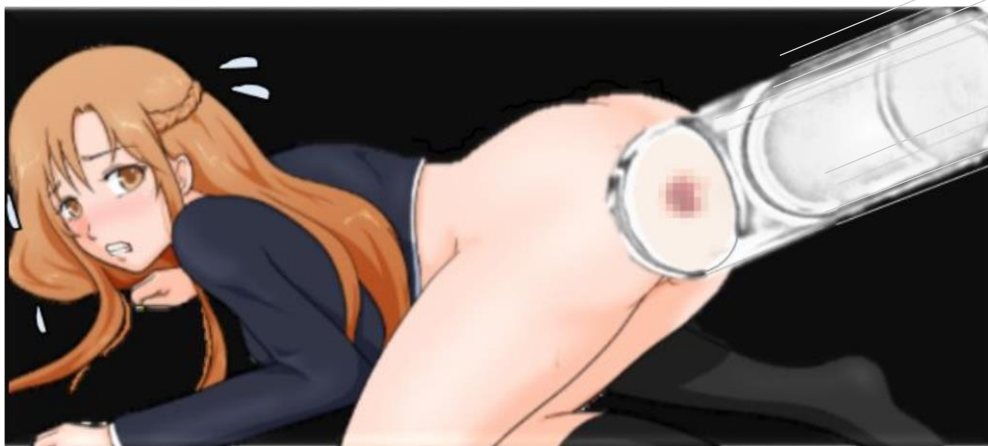
「はッあ……苦しいッ！うむむ」

「もうすこし耐えるんだ」

ーデュウウウ。ドクククッ！

チュルルルルルー—————！

「はあっ、はあっ、はあっ、ああ！きいいい」



それでも大量の薬液を注入する苦悶の浣腸。

明日奈はなかなか終わらぬ腸の締め上げに、いいッと歯を食いしばって耐えた。

——チュルル、ジュウウウ。ドクンン！

「はあああ！あ！あ！和人君！」ジュウウー。チュポ！

